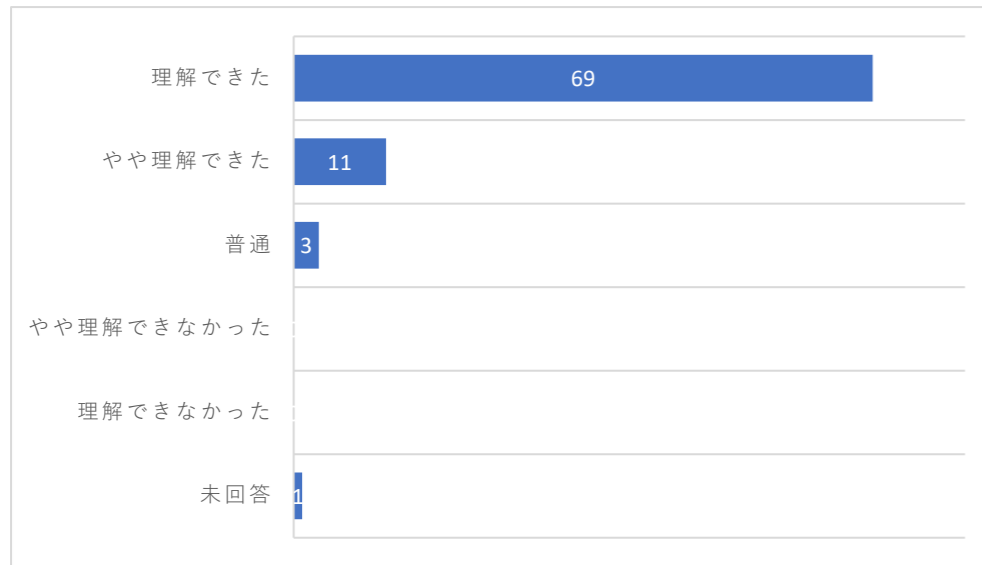
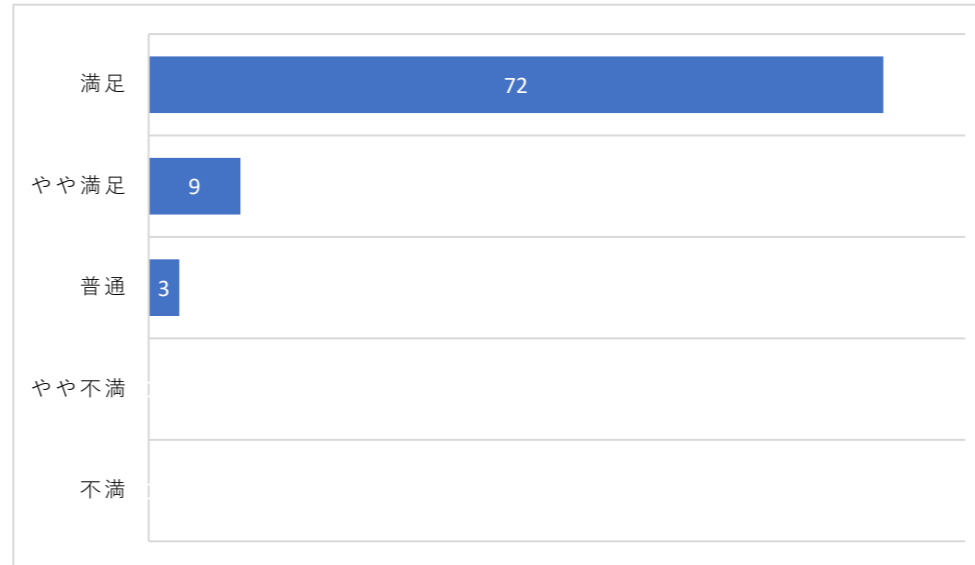


令和4年度 保護者アンケート 回答結果①

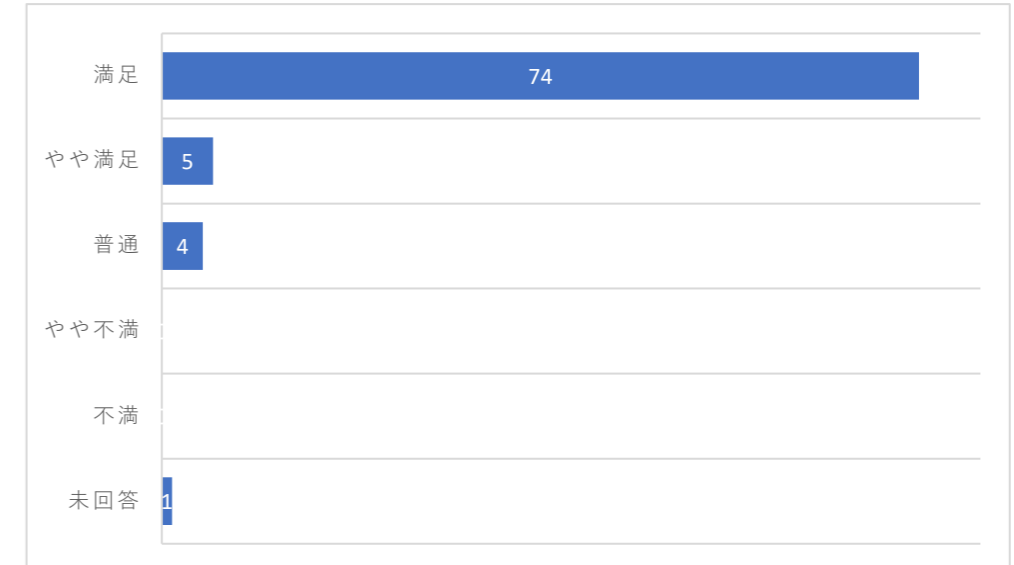
1. 園の方針は、ご理解いただけましたか？



2. 園の保方針や教育保育について、 どのように感じられましたか？



3. 園の屋外環境（園庭・遊具等）は、 安全に配慮されていましたか？



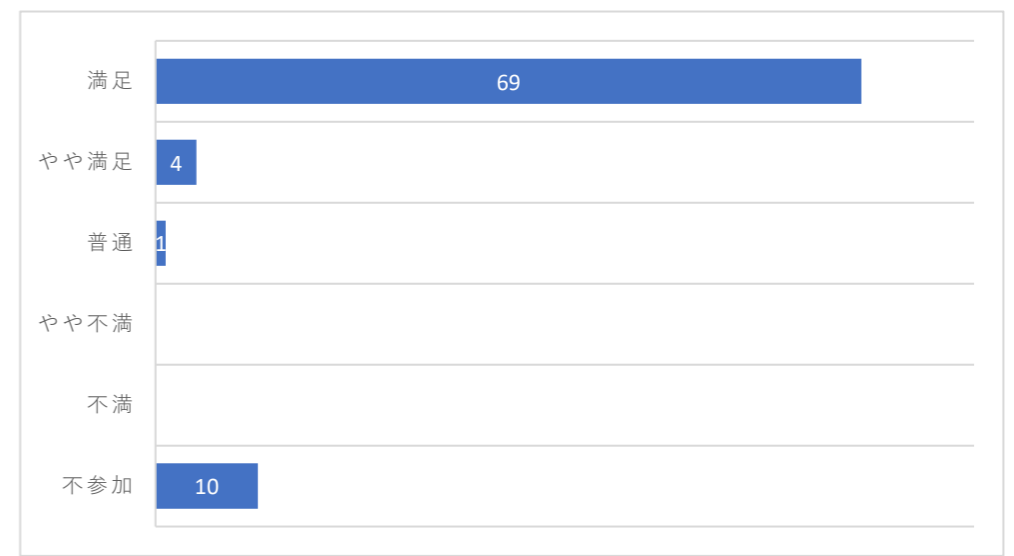
4. 園の室内環境（保育教材含む）はいかがでしたか？



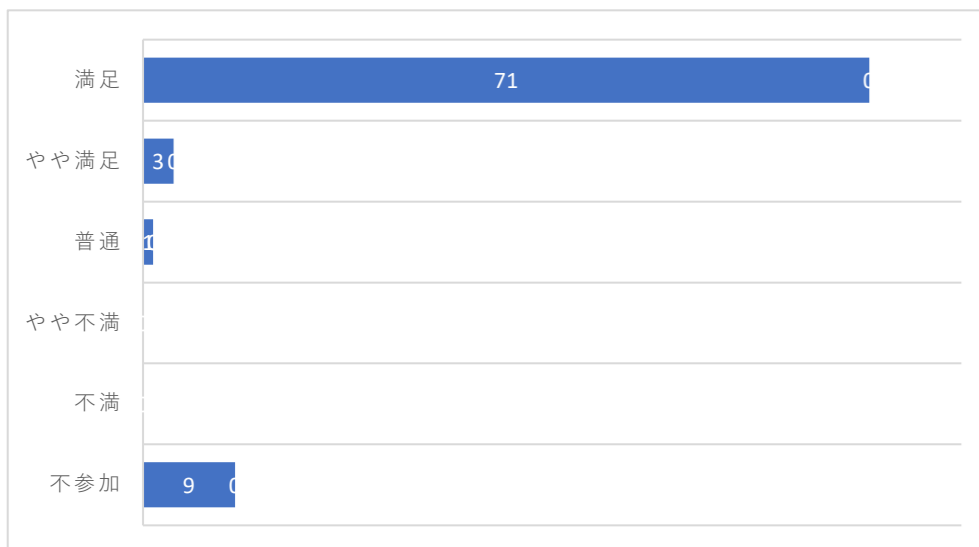
5. 給食はいかがでしたか？



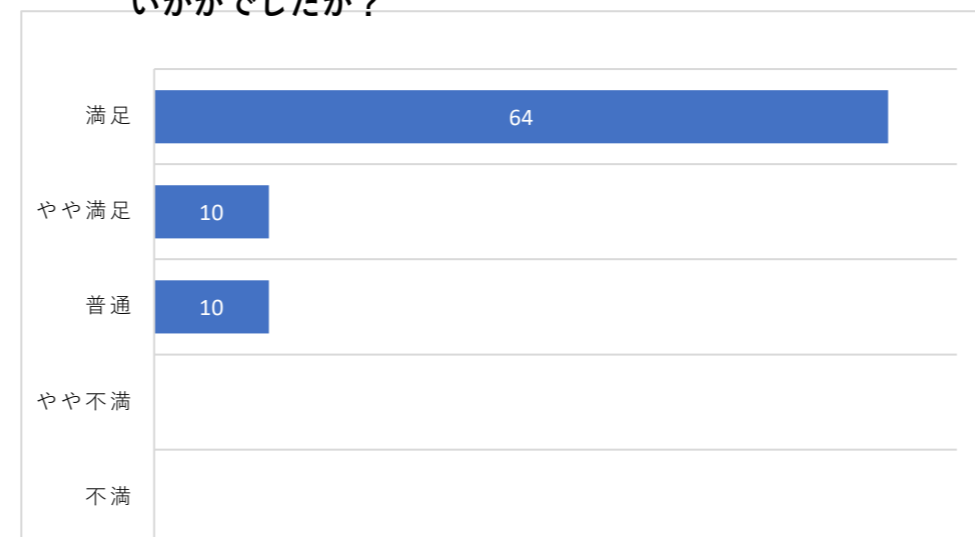
6. 運動会はいかがでしたか？



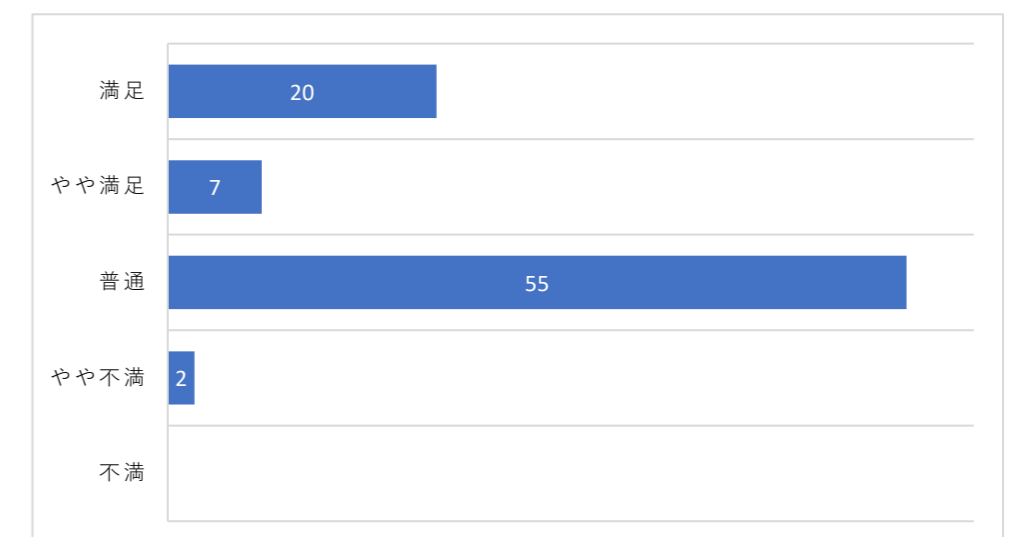
7. 発表会はいかがでしたか？



8. 園の保護者支援（悩みや相談に親身に応じる等）は いかがでしたか？

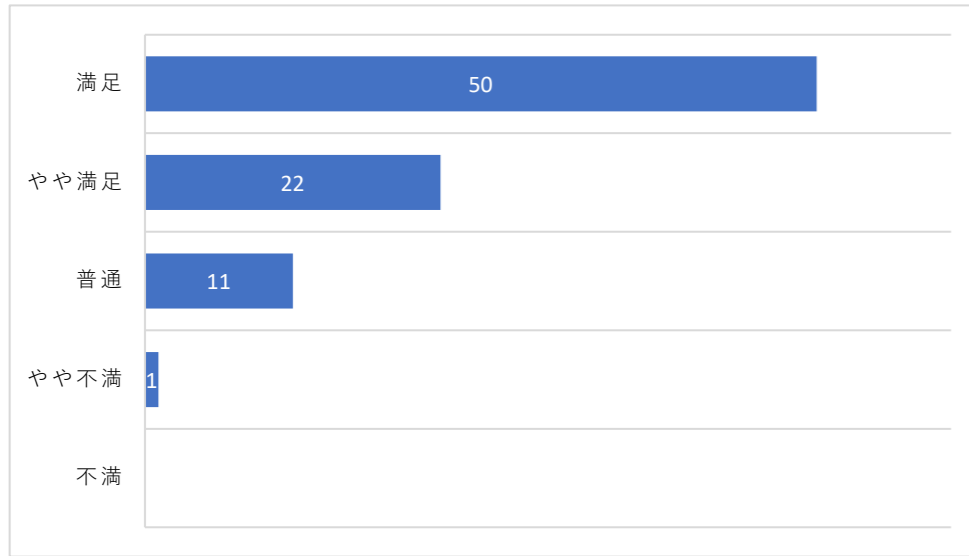


9. 保護者同士のコミュニケーションはとれていますか？

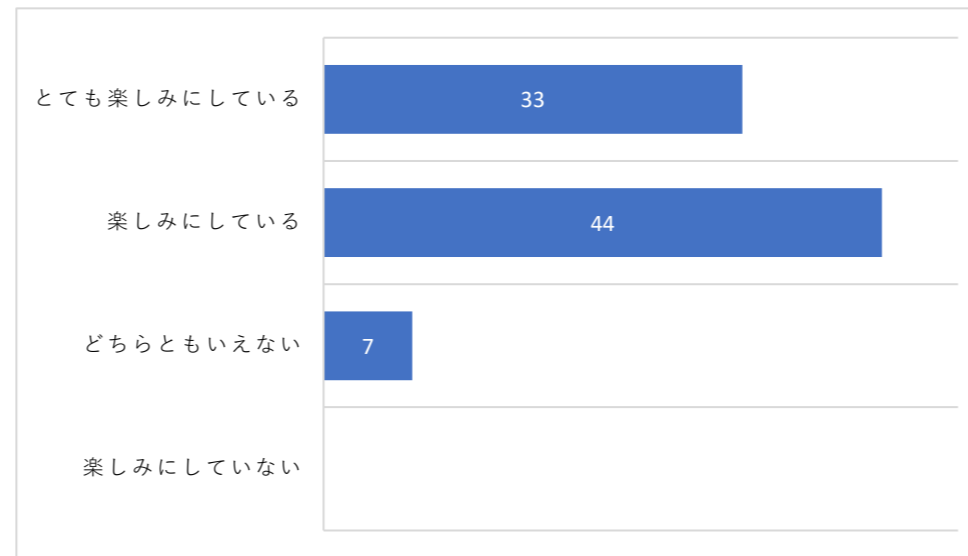


令和4年度 保護者アンケート 回答結果②

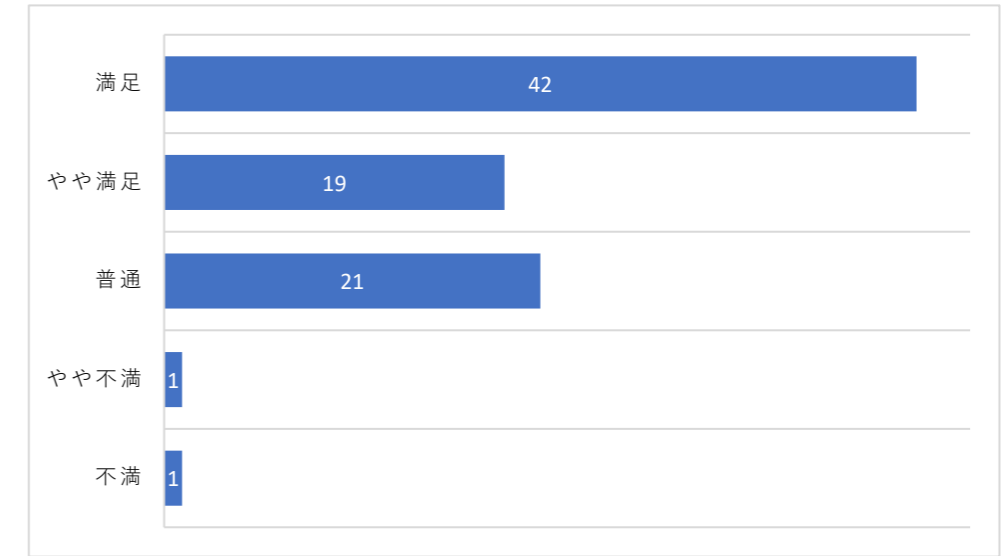
10. 園のコロナウイルス対応はいかがですか？



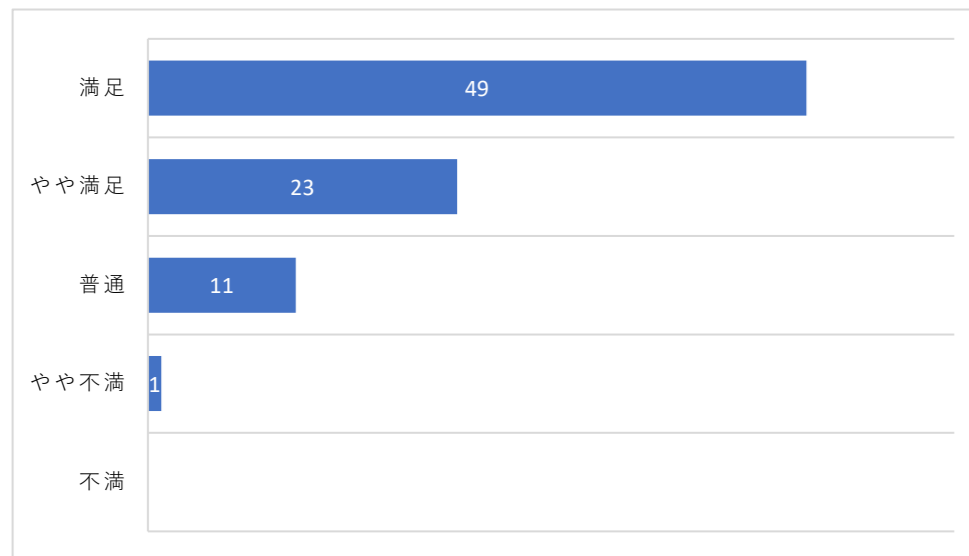
11. お子さんはこども園に行くのを楽しみにしていますか？



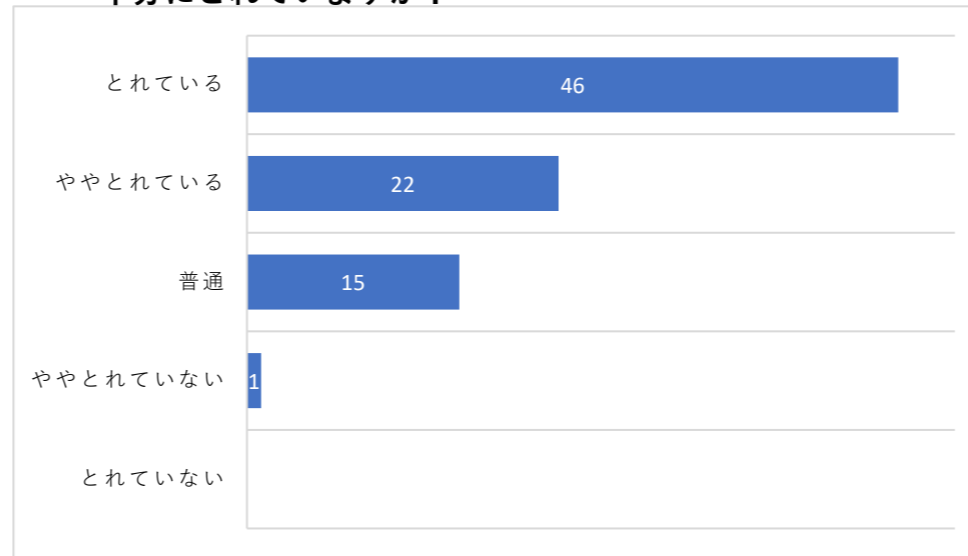
12. お子さんに挨拶の習慣は身についていますか？



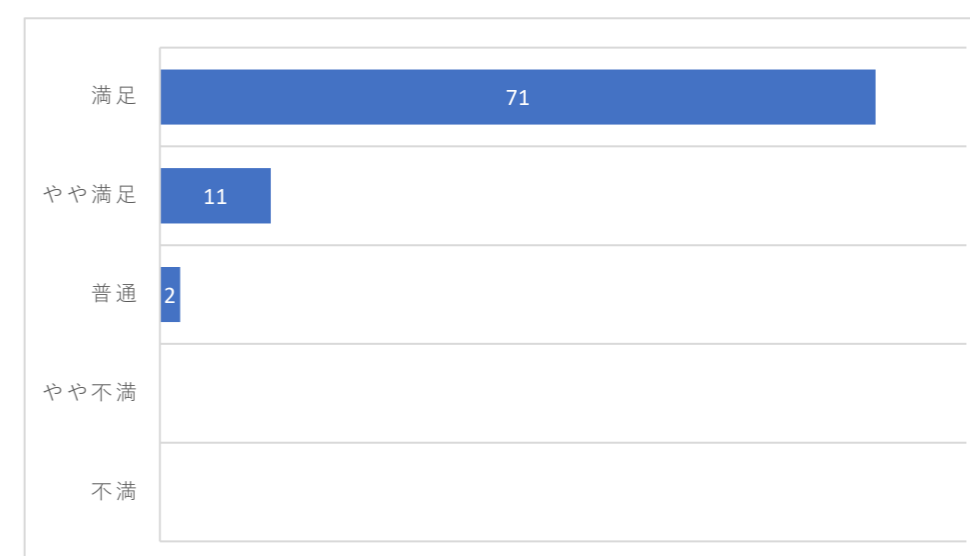
13. お子さんは集団生活に必要な決まりを守ろうとする態度が育ってきていますか？



14. お子さんと家庭内でコミュニケーションの時間は十分にとれていますか？



15. お子さんは体力の向上や、たくまさが育ってきていると感じますか？



2022 年度 学校評価結果公表シート 自己評価)

1.園の保育目標

- ・丈夫な身体
- ・素直に自分を表現できる子ども
- ・友達と楽しく遊べる子ども
- ・友達に優しく、自分より小さな子どもをいたわることのできる子ども
- ・動物、植物を大切に作る子ども
- ・広い関心と観察力を持った情緒豊かな子ども
- ・自分の事は自分でできる子ども

2.本年度に定めた重点的に取や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ・認定こども園教育要領を基本として、本園の教育・保育の充実に努める。
- ・園内(クラス内)の整理整頓・美化に努める。
- ・子どもたちに安全で衛生的な環境を提供できるようにする。
- ・研修で得た知識をもとに、保育教諭の資質や技術向上に努める。
- ・保育教諭は、子どもの成長に合った接し方をし、笑顔で日々の保育、教育に努める。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
認定こども園教育保育要領を基本とし本園の教育・保育の充実に努めたか	A	本園の方針や目標は変更することなく保育を行ったが、今年度も、新型コロナウイルス感染禍の中、幼児組で行っている行事は、年齢別で行うなど工夫をして行い成長した姿を保護者に見てもらえる事が出来た。個人面談は、時期をずらすなどして行う事が出来た。年長児の園外の社会見学は、難しく園に出張と言う形でスコーン作りや、サイエンスショーを企画し、楽しめるように努めた。 今後も常に保育を中心とし養護の行き届いた安全な環境を提供しながらも、時代に合わせた教育ができるようにする。
園の整理整頓・美化に努めたか	A	職員一人ひとりが物的環境への意識を高く持ち、取り組むことが出来た。
子どもたちに安全で衛生的な環境を提供できるようにしたか	A	チェックリストに基づき、毎月点検を行ってきた。不十分な所は都度、補修を行っていた。玩具・保育室の消毒・室内の換気、又年齢にあった玩具を使用し、誤飲に十分気をつけた。乳児は午睡中のSIDSのチェック・幼児組も見回りチェックを行っている。
研修で得た知識をもとに、保育教諭の資質や技術向上に努めたか	A	園内研修では「発達障害の理解」をテーマで講師の先生をお迎えし、理解を深めた。外部研修では、それぞれの役割に合った知識を身につけることができた。又、総括では保育の自己評価・来年に向けて・子どもへの関わり方など、同じテーマで話し合い資質向上に努めた。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	園の方針や目標等の変更はなく、教育・保育は子どもたちの様子に合わせて保育計画を立てて行った。又、保育計画の立て方を見直した。又、今年度も続く新型コロナウイルス感染症により前期は、行事の参加も幼児組だけにしたり、中期からは去年より行う事も増えた。また、マスクの着用は、咳など症状のない時は自由にし、子どもたちの安全を第一に考え状況に応じて判断した。防災への取り組みとして重要性を再確認した。火災・地震の避難訓練で子どもたちの誘導を繰り返し行う事で今後も安全対策に力を注いでいきたいと思う。子どもの安全を第一に考えた教育・保育をしていく。幼保小連携協議会への参加は、交流することができた。園児の交流は、直接会う事は、出来なかったがどんぐりや木の実でツリーを作って持ってきてくれ、楽しむことができた。園児からのありがたい気持ちでおりがみでリースを作り交流をすることができた。

※「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分に達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分ではない
D	取り組みが不十分である

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み状況
災害を想定した安全対策	火災・地震の他、洪水を想定した安全対策を考えて行く。又、不審者について職員間で話し合い、子どもの安全を守る為に対策や訓練も取り組んでいく。
小学校との接続の充実	幼保小連携協議会への職員参加や小・中学生とのふれあい体験を行い充実を図る。
子育て支援事業の拡大と充実	子育て支援事業の一環「ハッピー・ハロー」の回数を増やし、地域交流の場を提供できるようにする。